

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 だれでもいきいき幸せに暮らせるまち

施策番号・名 14 高齢者福祉の推進

基本事業番号・名 14-02 交流の場の確保

事務事業番号	所管課係名		事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)					
	事務事業名	対象		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)				
14-02-01	福祉総務課 高齢者福祉係	対象	満75歳以上の、住民基本台帳あるいは外国人登録原票に記載のある市民	平成21年度	10,324 (人)	平成21年度	307 (人)	平成21年度	3.0 (%)	平成21年度	457	平成21年度	552	平成21年度	1,009	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	敬老大会事業	手段	市と社会福祉協議会の共催により、公民館(22年度より生涯学習センター)で式典とアトラクションを年1回実施する。	平成20年度	9,500 (人)	平成20年度	250 (人)	平成20年度	2.6 (%)	平成20年度	400	平成20年度	541	平成20年度	941	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名: 福祉総務課 小島信行	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	長寿への祝意	平成19年度	9,069 (人)	平成19年度	234 (人)	平成19年度	5.0 (%)	平成19年度	400	平成19年度	542	平成19年度	942	改善の余地	■あり □なし	平成20年度より実行委員会方式に変更し、今後は市の関りを検討		
		対象	市内在住の高齢者(17年度までは、70歳以上。18年度からは、75歳以上)	大会参加者数			参加者数/対象高齢者数													
14-02-02	福祉総務課 高齢者福祉係	対象	老人クラブ及び老人クラブ連合会	平成21年度	33,672 (人)	平成21年度	9,851 (千円)	平成21年度	1,906 (人)	平成21年度	9,851	平成21年度	1,248	平成21年度	11,099	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	老人クラブ事業	手段	①趣味やスポーツなどのサークル活動、神社や交番の清掃などのボランティア活動、老人ホームなどの施設訪問とその手伝い ②芸能、スポーツなどを主催、世代間交流の大会の実施、広報活動等。	平成20年度	34,058 (人)	平成20年度	9,880 (千円)	平成20年度	1,949 (人)	平成20年度	9,997	平成20年度	1,236	平成20年度	11,233	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 福祉総務課 小島信行	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	高齢者が地域で生きがいを持って生活できる。	平成19年度	32,731 (人)	平成19年度	9,880 (千円)	平成19年度	1,949 (人)	平成19年度	10,431	平成19年度	1,233	平成19年度	11,664	改善の余地	■あり □なし	高齢者の地域での活動の場の確保として、一定の役割があるが、加入者の確保が難しくなっているのが現状である。	老人福祉法により必要な事業、高齢化に伴い、生きがいを持てる健全で安らかな生活及び心身の健康の保持に、老人クラブの役割は大きい。	
		対象	60歳以上の高齢者数	老人クラブ助成金			老人クラブ加入者数													
14-02-03	福祉総務課 高齢者福祉係	対象	①市民 ②この内、老人福祉センター利用者は、満60歳以上の利用証交付者。	平成21年度	167,392 (人)	平成21年度	8 (件)	平成21年度	4.5 (回)	平成21年度	67,268	平成21年度	249	平成21年度	67,517	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	地区センター管理事業	手段	単体地区センター5か所は社会福祉協議会が、地域センター内地区センター3か所は特定非営利活動法人ワーカーズコープが、それぞれ指定管理者として運営管理している。	平成20年度	161,000 (人)	平成20年度	8 (件)	平成20年度	5.0 (回)	平成20年度	67,321	平成20年度	247	平成20年度	67,568	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 福祉総務課 小島信行	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	地域の交流の場の提供として、 ①会議室の貸出 ②高齢者の社交場 ③地域の情報提供	平成19年度	151,276 (人)	平成19年度	8 (件)	平成19年度	4.9 (回)	平成19年度	69,294	平成19年度	247	平成19年度	69,541	改善の余地	■あり □なし	平成18年度の指定管理者の導入以来、平成22年度で5年間の協定期間が満了することから、平成22年度中に指定管理者の選定を行う必要があり、新たな費用効果の検討をする。	事業を支援し現状維持とする。	
		対象	利用者延べ人数	保守点検委託契約件数			1人当たりの年間利用件数(利用者延べ人数/対象年齢人口)													
14-02-04	福祉総務課 高齢者福祉係	対象	市内に居住する元気高齢者	平成21年度	33,672 (人)	平成21年度	466 (人)	平成21年度	324 (人)	平成21年度	1,000	平成21年度	1,245	平成21年度	2,245	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	生きがい健康の会事業	手段	①主催7事業(さわやかスポーツ、久留米を知らう、カラオケ大会、ダンスの夕べ、高齢者作品展、てまりづくり、講演会) ②参加2事業(子どもまつり、市民まつり) ③定例会(月12回)、研修、事業準備	平成20年度	33,535 (人)	平成20年度	89 (人)	平成20年度	462 (人)	平成20年度	1,000	平成20年度	1,233	平成20年度	2,233	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名: 福祉総務課 小島信行	23年度以降に向けた方向性	縮小
		意図	元気な高齢者を対象とした施策を、高齢者自らが中心となった主体的な団体として、活動を行ってもらう。	平成19年度	32,731 (人)	平成19年度	88 (人)	平成19年度	368 (人)	平成19年度	1,000	平成19年度	1,233	平成19年度	2,233	改善の余地	■あり □なし	活動内容は評価できるものの、市の財政補助団体としてふさわしい要件が具備されているか指導を行い、かつ、補助対象事業の精査を行ったうえで、管理運営の適正な指導を行う。	補助金の削減	
		対象	60歳以上の高齢者数	活動した述べ人数			主催自主事業への参加者数													